

令和 6 年度の事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

認定 NPO 法人 I V Y

1 事業の成果

以下の通り事業を実施した。各事業の成果は、下記 2 に詳細を記載している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

①世界の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
イラク共和国学校教育環境整備事業	(目標) ニナワ県シンジャール地区のチャイシंगाール小学校とザレファ商業高校、ドホーク県の実業高校 4 校の教育環境が整備される。 (活動) 1. 元ザレファ小中一貫校の校舎補修と引き渡し 2. 観光高校の PC 教室整備 3. ニナワ県実業高校と小学校・ドホーク県実業高校の資機材の整備 4. ニナワ県・ドホーク県実業高校教員へのキャリア教育指導研修 (外務省日本 N G O 連携無償資金協力事業)	(A) 2022/3/14 ～2025/1/13 ※注：本事業は、2021 年度から 2024 年度にまたいで実施。当該期間は 2024/4/1 ～ 2025/1/13。 (B) イラク共和国ニナワ県、ドホーク県 (C) 4 人	(D) イラク共和国ニナワ県、ドホーク県の児童・生徒、教員 (E) 1,250 人	6,627
イラク・紛争の影響を受けた子どもたちのためのやさしい教育環境整備事業	(目標) ニナワ県シンジャール地区ハナソル町において、校舎建設及び教員研修を行い、故郷に戻った子どもたちが安心安全な学習環境で基礎学力を身に付けるとともに、逆境の中でも自分を大切にして苦境を乗り越えるレジリエンス力を培う。 (活動) 1. 校舎建設 2. TiCC 及び心理社会的支援・ライフスキル研修 (外務省日本 N G O 連携無償資金協力事業)	(A) 2023/3/31～ 2024/6/30 ※注：本事業は、2022 年度から 2024 年度にまたいで実施。当該期間は、2024/4/1 ～ 2024/6/30。 (B) イラク共和国ニナワ県 (C) 5 人	(D) イラク共和国ニナワ県の児童・生徒、教員 (E) 3,638 人	20,961

イラク・エルビル県地震で倒壊した校舎の再建と教育の質向上プロジェクト	(目標) イラク・エルビル県で、地震で倒壊した小中学校の校舎を再建し、安心安全な学習環境を整備する。また、この学校に新たに高校を開校して中等教育の地域間格差を是正する。さらに、小中高校8校の教職員対象に「子ども主体の教育」「日本式教育」を普及し、質の高い教育が提供される。 (活動) 1. 安全安心な学習スペースの整備 ① 新校舎の建設 ② 高校の開校 ③ 維持管理ワークショップ 2. 教職員の能力強化研修 ① 教職員の能力強化研修 ② フォローアップ (外務省日本NGO連携無償資金協力事業)	(A) 2024/3/31～2025/6/30 ※注：本事業は、2023年度から2025年度にまたいで実施。当該期間は2024/4/1～2025/3/31。 (B) イラク共和国エルビル県エルビル郡シヤマメック地区ドゥスタパ村 (C) 5人	(D) イラク共和国エルビル県エルビル郡シヤマメック地区ドゥスタパ村の児童・生徒、教員 (E) 4,575人	70,698
衛生事業	(目標) エルビル県・ハーシャム国内避難民キャンプに暮らす女性の、生理に起因する感染症拡大を防ぐ。 (活動) ・ 対象地域の20代の女性120人に生理用品を配布する (テルモ生命科学振興財団・医療貢献活動助成事業)	(A) 2024/1/1～2024/4/31 ※注：本事業は、2023年度から2024年度にかけて実施。当該期間は、2024/4/1～2024/4/31。 (B) イラク共和国エルビル県ハーシャム国内避難民キャンプ (C) 5人	(D) エルビル県ハーシャム国内避難民キャンプの女性 (E) 120人	1,136
イラク・エルビル県長期化する避難生活下における子どもへの教育支援・フェーズ3	(目標) エルビル県で避難生活を送る国内避難民の子どもたちに安心安全な学習スペースが確保され、子どもたちのレジリエンスが高まる。 (活動) 1. アルサディーク小学校、アルサディーク男子中学高等学校、アルエルム・アルナーファ第2小学校、コバンディー小学校の校舎建て替え(1校)および教室の増設(4室) 2. 教員の衛生教育講師養成研修、児童・生徒に対する衛生教育 3. 教員の教職員研修	(A) 2023/10/22～2024/10/21 ※注：本事業は、2023年度から2024年度にまたいで実施。当該期間は2024/4/1～2024/10/21。 (B) イラク共和国エルビル県エルビル市 (C) 5人	(D) イラク共和国エルビル県エルビル市の児童・生徒、教員 (E) 1,312人	8,528

	(ジャパン・プラットフォーム助成事業)			
イラク・エルビル県長期化する避難生活下における子どもへの教育支援・フェーズ4	(目標) エルビル県で避難生活を送る IDP の子どもたちの公教育の機会が確保され、そのレジリエンスが高まる。 (活動) 1. 教室棟の建設 (8 室) 2. 保健衛生教育研修の実施 3. TiCC 研修 (緊急下の教員への研修)・教授法研修 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2024/9/1 ~ 2025/7/31 ※注：本事業は、2024 年度から 2025 年度にかけて実施。当該期間 は 2024/9/1 ~ 2025/3/31。 (B) イラク共和国エルビル県 (C) 5 人	(D) イラク共和国エルビル県の児童・生徒、教員 (E) 1,424 人	24,685
シリア・デリゾール県紛争の影響を受けた脆弱な若者のレジリエンス向上支援 フェーズ2	(目標) デリゾール県キスレ地区の若者のレジリエンスが高まる。 (活動) 1-1) 初等教育支援 1-2) 職業技術訓練 2-1) ライフスキル教育 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2023/11/15 ~2024/5/13 ※注：本事業は、2023 年度から 2024 年度にかけて実施。当該期間 は 2024/4/1 ~ 2024/5/13。 (B) シリア・アラブ共和国デリゾール県 (C) 4 人 (提携団体 11 人)	(D) シリア・アラブ共和国デリゾール県の若者 (E) 243 人	15,458
シリア・デリゾール県紛争の影響を受けた脆弱な若者のレジリエンス向上支援 フェーズ3	(目標) デリゾール県キスレ地区の若者のレジリエンスが高まる。 (活動) 1. 初等教育支援 2. 職業技術訓練 3. インターンシップと起業支援金給付 4. ライフスキル教育 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2024/7/22 ~ 2025/5/21 ※注：本事業は、2024 年度から 2025 年度にかけて実施。当該期間 は 2024/7/22 ~ 2025/3/31。 (B) シリア・アラブ共和国デリゾール県 (C) 4 人 (提携団体 11 人)	(D) シリア・アラブ共和国デリゾール県の若者 (E) 245 人	30,642
シリア北東部緊急支援	(目標) シリアの国内避難民に対し緊急人道支援を行い、その命を救う。 (活動) シリア北東部の国内避難民 129 世帯に対し、食料バスケットと衛生用品を届ける。 (クラウドファンディング)	(A) 2025/2/1 ~ 2025/3/31 (B) シリア・アラブ共和国ラッカ県 (C) 3 人 (提携団体 7 人)	(D) シリア・アラブ共和国ラッカ県の国内避難民 (E) 703 人	1,290

コックスバザール県 テクナフ郡中山間地域の小規模農家流通支援プロジェクト	(目標) テクナフ郡ワイコンユニオンの中山間地域の 5 つの区で、小規模農家の市場アクセスと生産性が向上する。 (期待される成果) 1. 研修受講者 (250 人) の農業技術が向上する。 活動：裨益者に野菜の栽培と養鶏の研修を実施し、必要な農業資材を配布。 2. 共同出荷が開始される。 活動：裨益者にマーケティング研修を実施。共同出荷グループを作り、定期的な市場への出荷のサポート。 3. 道路整備後、農産物の出荷量が増加する。 活動：農地に面し住民の利用度が高い農道のコンクリート舗装を行い、通年で安全通行を可能にする。 4. 灌漑用水による農産物栽培が可能になる。 活動：農地至近にソーラーポンプ付き井戸を設置。 (外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業)	(A) 2024/3/1 ~ 2025/3/31 ※注：本事業は、2023 年度から 2024 年度にまたいで実施。当該期間は 2024/4/1 ~ 2025/3/31。 (B) バングラデシュ人民共和国コックスバザール県テクナフ郡ワイコンユニオン (C) 1 人 (提携団体 12 人)	(D) バングラデシュ人民共和国コックスバザール県テクナフ郡ワイコンユニオンの農民 (E) 7,550 人	48,969
ノアカリ県 脆弱な水害被災者のための井戸補修と簡易シェルター供与を通じた水・住環境緊急改善事業	(目標) 1. ノアカリ県で、野ざらしの状態の被災世帯に簡易シェルターを配布し、雨風、直射日光から乳幼児や高齢者の生命を守る。 2. 洪水で損壊した井戸を修理し安全な水を確保、水系感染症の拡大を予防。 (期待される成果) 1. 洪水被災者が、簡易シェルターを使用し安心して暮らせるようになる。 2. 水衛生改善で水系感染症罹患患者数が減少する。 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2024/9/29 ~ 2024/11/27 (B) バングラデシュ人民共和国ノアカリ県シェンバグ郡・ノアカリシャダルの (C) 1 人 (提携団体 15 人)	(D) バングラデシュ人民共和国ノアカリ県シェンバグ郡・ノアカリシャダルの洪水被害者 (E) 8,500 人	44,425
ウクライナ・紛争の影響を受けている地域に対する保健医療の提供と多発外傷における医師と地域の初期対応ボ	(目標) 戦闘地域に近いウクライナ 3 州での多発外傷者への初期対応能力強化と医療へのアクセス向上により、国内避難民、地域住民の身体的・精神的健康が改善する。 (期待される成果) 1. ドニプロペトロウシク州ドニプロ地区で保健医療サービスへのアクセスが向上する。	(A) 2023/10/11 ~ 2024/6/10 ※注：本事業は、2023 年度から 2024 年度にまたいで実施。当該期間は 2024/4/1 ~ 2024/6/10。 (B) ウクライナ国内 3 州 (C) 2 人 (提携団体	(D) ウクライナ国内 3 州の国内避難民、医療関係者、地域住民 (E) 3,550 人	56,674

ランティアの能力向上支援	2. 3州で医師の多発外傷ケアの知識・手技が向上。 3. 3 州でボランティアの応急処置能力が向上する。 (活動) 1. ドニプロペトロウシク州での医療サービスと精神保健支援の提供 2. 3 州で多発外傷患者のケアに携わる医師に対する多発外傷ケア研修 3. 3 州で負傷者の初期対応にあたるボランティアに対する応急処置研修 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	15 人)		
ウクライナ北東部ハルキウ州・医療へのアクセスが困難な脆弱な人々のための保健医療支援事業	(目標) ハルキウ州において、医療が受けられず危機的状況に陥っている脆弱な人々に移動診療チームによる一次医療と心のケアを提供し、一人でも多くの生命を救う。 (期待される成果) ハルキウ市と郊外の脆弱な人々の保健医療サービスへのアクセス向上。 (活動) ハルキウ市と郊外で一次医療と心のケアを提供 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2024/3/31～2025/2/28 ※注：本事業は、2023 年度から2024 年度にまたいで実施。当該期間は2024/4/1～2025/2/28。 (B) ウクライナ国ハルキウ州 (C) 2 人（提携団体 15 人）	(D) ウクライナ・ハルキウ州の国内避難民と住民 (E) 3,534 人	53,064

②日本に定住する外国人等に対する支援事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
通訳翻訳サービス	(目標・期待される成果) 通訳派遣を通して、言語による不利益を縮小し、基本的人権の享受に資する。 (活動) 医療や行政、福祉機関、民間事業所等の通訳需要に応える。	(A) 2024/4/1～2025/3/31 (B) 山形県内 (C) 40 人	(D) 山形県内の通訳派遣／翻訳依頼者 (E) 39 人	165
通訳養成事業	(目標・期待される効果) 専門分野の知識を深め、通訳の質の向上を目指す。 (活動) AIRY との共催事業。司法・医療分野に焦点を当てた学習会。村山地域で 4 回実施	(A) 2024/4/1～2025/3/31 (B) 山形県内 (C) 3 人	(D) 講座参加者 (E) 72 人	120

多言語相談 サービス	(目標) 外国出身者が母語で相談で きる相談機関の維持。 (活動) 相談者の母語で相談を受け、 情報提供、他機関へのリファ ー、必要に応じて同行支援を 行う。	(A) 2024/4/1 ~ 2025/3/31 (B) 山形県内 (C) 2 人	(D) 山形県内 在住の外国 人 (E) 20 人	6
---------------	--	--	------------------------------------	---

③地球市民を育てる国際理解教育・環境教育事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
多文化共生を考える講座	(目標) 多文化共生の理解促進 (期待される成果) 参加者同士のネットワーク構築。 (活動) 多文化共生を考える講座を開催	(A) 2024/4/1 ～ 2025/3/31 (B) 山形市内 (C) 2 人	(D) 講座参加者（山形市内の大学生・一般市民） (E) 32 人	119
開発教育ワークショップ等講師派遣	(目標) 世界の状況を伝える。 (期待される成果) IVY の国際協力活動への関心が高まる。 (活動) 学校現場や大学、他団体の要請に基づきワークショップを行う。	(A) 2024/4/1 ～ 2025/3/31 (B) 東北 6 県 (C) 3 人	(D) 東北 6 県の市民、児童・生徒・学生 (E) 220 人	18
国際理解実践フォーラム等他団体との連携	(目標) 東北での国際協力・多文化共生・開発教育の理解促進。 (活動) ・ フォーラム企画、実施 ・ 最上ジモト大学でワークショップを実施 ・ 山形県内での国際理解教育教員ネットワークの構築	(A) 2024/4/1 ～ 2025/3/31 (B) 山形市内 (C) 1 人	(D) イベントに関心がある市民、学生、教員 (E) 100 人	16

④関連団体及び関係する県内、国際機関との情報交換、連絡調整及び協力、並びにこの法人の目的にかなう事業を行っている他団体に対しての助成援助

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
外務省 N G O 相談員事業	(目標) 東北の N G O 団体の基盤強化に向けた相談対応、広く市民に対し国際協力活動についての理解促進を図る。 (活動) 相談対応業務、出張サービス、広報	(A) 2024/4/1 ～ 2025/3/31 (B) 主に東北 6 県 (C) 6 人	(D) 東北 6 県の N G O 及び市民等 (E) 998 人	2,895

【IVYyouth】 海外活動・バン グラデシュ プロジェクト	(目標) バングラデシュにおいて、初 等教育向けの算数教育支援 を行い、教育及び生活水準の 向上に寄与する。 (期待される成果) ・ 算数教育の一層の充実 ・ ドリルを活用した学習機 会の増加 (活動) 4～6月 事業方針の決定 7～12月 現地の教科書研 究・ドリルの構成及び作成 方法の検討、平林先生への 聞き取り調査 1～3月 現地の教科書の研 究・小テストの作成	(A) 2024/4/1～ 2025/3/31 (B) 山形市、バン グラデシュ人民 共和国 (C) 7人	(D) バ ン グ ラ デ シ ュ 人 民 共 和 国 事 業 実 施 地 域 の 児 童 ・ 生 徒 、 教 員 (E) (準備段 階のため受 益者は0人)	2
【IVYyouth】 国際理解推進 活動	(目標) ・ 国際理解に関心のある人 を増やす。 ・ IVYyouth の活動を発信。 ・ 国際問題への理解を深め る。 ・ ファシリテーションスキ ルを身につける。 (活動) 4月 新入生歓迎フェスティ バル 8月 イングリッシュキャン プ in 尾花沢 10月 八峰祭 2、3月 ワークショップのお 手伝い	(A) 2024/4/1～ 2025/3/31 (B) 山形市、尾花 沢市、新庄市 (C) 8人	(D) ワーク シ ョ ッ プ 参 加 者 (山 形 市 、 尾 花 沢 市 、 新 庄 市 の 市 民) (E) 130人	-
【IVYみや ぎ】インター ネット等 を活用した 広報・キャン ペーン	【目標】 ・ 宮城県仙台市を中心に IVY の事業を広報し、会 員、支援者を拡大する。 ・ クラウドファンディング 等により資金を個別に募 る事業に対して広報協力 等を行い、目標額の達成 に寄与する。 (期待される成果) 会員、支援者の増加 (活動) シリア北東部の国内避難民 への緊急人道支援のための クラウドファンディングへ の協力	(A) 2024/4/1～ 2025/3/31 (B) 宮城県仙台 市 (C) 1人	(D) 宮城県 内の市民・ 学生 (E) (広報活 動のため、 受 益 者 数 を カ ウ ン ト で き な い)	-

⑤上記の事業遂行に関して一般市民に対しての理解と支持を求めるための、機関誌、刊行物な
どの発行及びマスメディアなどを通じての広報活動

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
広報強化	(目標) IVY の活動・理念を広く周知し、支援者を増やす。 (活動) 1) SNS 投稿 2) ホームページ更新 3) プレスリリース 4) イベント開催 5) IVY リーフレットの作成 6) メルマガ配信	(A) 2024/4/1 ～ 2025/3/31 (B) 全国 (C) 8 人	(D) (E) (広報活動のため、受益者・数は特定できない)	-
ファンドレイジング	(目標) IVY の活動・運営資金の確保、自己資金率の向上。 (活動) 1) クラウドファンディングの実施 2) IVY マンスリーサポーター制度の周知 3) IVY マンスリーサポーター獲得 4) 募金箱 5) 幸せの黄色いレシートキャンペーン 6) 書き損じはがき	(A) 2024/4/1 ～ 2025/3/31 (B) 全国 (C) 8 人	(D) (E) (広報活動のため、受益者・数は特定できない)	-

⑥国内外の災害救援活動

実施しなかった

⑦その他この法人の目的達成に必要な事業

実施しなかった

(2) 収益事業

実施しなかった

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。
- 2 2 は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2 の(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。